

一、ぶつかっても大したことはない。速度も人間の精神構造に無理のない速度であるし、いい運動にはなるし、その上、小まわりがきいて、駐車場のスペースも少い：：となる、いいことづくめみたいに見える。本当にそうだろうか？ 利用者の立場、業者の立場、教育者、道路管理者、色々な人にインタビューして、自転車をとりにまく問題を話しあってもらった。

坂本喜久江さん（主婦） 中沢玲子さん（主婦）

奥井 貴女よく自転車乗るわけネ。

坂本 乗ってみて、つくづく考えるのが道路の問題。安心して乗れる所なんて一つもないんじゃないかしら：奥井 自動車のためだけの道路であって、自転車と歩行者は、はずされている。

中沢 人間疎外だと思ふ。歩いている人みていると、子供、老人、主婦が多い。働き盛りの男って割に車好きよネ。

奥井 とかく男って動物は、動くもの好きみたい。

中沢 車が生き甲斐だ。なんていう人いるものネ。

奥井 そういう人たちが道路を管理したり、税金をとったりするから、いつまでたっても乳母車や車椅子が通れない。

坂本 六号国道は、最近歩道の段差のところをコンクリートでかためて、いくらか通りよくなったけれど、今一番ひどいのが木田余街道。市民会館や本局へ行くのによく利用する道なのに一番ひどいわネ。

奥井 まともに通ったら必ずころびますヨ。

車道の所は舗装してあるけれど、歩道はゴミと石コロと下水なんだから：

坂本 本局の手前の信号の所なんか、危険をおかして信号の中を通るほかないものネ。

奥井 ガソリンスタンドは必ずといっていい程歩道を我もの顔に利用に使っているし、歩道をふさいでいる私物が多すぎると思わない。

中沢 警察も駐車違反ばかり取締らないで、たまにそういうのも取締ってもらいたいわネ。

坂本 学園道路は新しく出来たわりには自転車は乗りにくい。

奥井 いちいち、ドッコイショなものネ。

坂本 市内の最近一方通行になった道は、わりに乗りやすくなった。

中沢 一方通行と信号をうんとふやして、自動車へ乗ったら最後、不自由で不自由でしようがないといって悲鳴あげるくらいでちょうどいいんじゃないかしら。